

テーマ	総合原価計算（材料の追加投入）
-----	-----------------

1. 次の資料に基づき、(1) 先入先出法、(2) 平均法によって、当月の完成品総合原価と完成品単位原価、月末仕掛品原価を計算しなさい。当月の生産データおよび原価データは次のとおりである。

〔生産データ〕

月初仕掛品	50 個	(20%)
当月投入	85 個	
合計	135 個	
正常仕損	10 個	
月末仕掛品	25 個	(80%)
完成品	100 個	

※（ ）内は加工進捗度を示している。

※材料はすべて始点で投入している。

※仕損は工程の終点で発生している。

※仕損は、通常発生する程度のもの（正常仕損）であり、1 個あたり¥50 の処分価格がある。

〔原価データ〕

	A材料費	B材料費	加工費	合計
月初仕掛品原価	¥5,340	¥0	¥1,080	¥6,420
当月製造費用	¥8,160	¥11,000	¥14,520	¥33,680

※A材料は工程の始点で投入し、B材料は**工程の終点**で追加投入する。

(1) 先入先出法

完成品総合原価	円
完成品単位原価	円
月末仕掛品原価	円

(2) 平均法

完成品総合原価	円
完成品単位原価	円
月末仕掛品原価	円

テーマ	総合原価計算（材料の追加投入）
-----	-----------------

2. 次の資料に基づき、(1) 先入先出法、(2) 平均法によって、当月の完成品総合原価と完成品単位原価、月末仕掛品原価を計算しなさい。当月の生産データおよび原価データは次のとおりである。

〔生産データ〕

月初仕掛品	50 個	(20%)
当月投入	85 個	
合計	135 個	
正常仕損	10 個	(50%)
月末仕掛品	25 個	(80%)
完成品	100 個	

※（ ）内は加工進捗度を示している。

※材料はすべて始点で投入している。

※仕損は加工進捗度 50%地点で発生している。

※仕損は、通常発生する程度のもの（正常仕損）であり、1 個あたり¥30 の処分価格がある。

なお、正常仕損品の評価額は全額 A 材料費の計算で控除する。

〔原価データ〕

	A 材料費	B 材料費	加工費	合計
月初仕掛品原価	¥5,340	¥0	¥1,080	¥6,420
当月製造費用	¥8,160	¥12,500	¥14,520	¥36,180

※A 材料は工程の始点で投入し、B 材料は加工進捗度 40%で追加投入する。

(1) 先入先出法

完成品総合原価	円
完成品単位原価	円
月末仕掛品原価	円

(2) 平均法

完成品総合原価	円
完成品単位原価	円
月末仕掛品原価	円

テーマ	総合原価計算（材料の追加投入）
-----	-----------------

3. 次の資料に基づき、(1) 先入先出法、(2) 平均法によって、当月の完成品総合原価と完成品単位原価、月末仕掛品原価を計算しなさい。当月の生産データおよび原価データは次のとおりである。

〔生産データ〕

月初仕掛品	50 個	(20%)
当月投入	85 個	
合計	135 個	
正常仕損	10 個	(50%)
月末仕掛品	25 個	(80%)
完成品	100 個	

※（ ）内は加工進捗度を示している。

※材料はすべて始点で投入している。

※仕損は加工進捗度 50%地点で発生している。

※仕損は、通常発生する程度のもの（正常仕損）であり、1 個あたり¥30 の処分価格がある。

なお、正常仕損品の評価額は全額 A 材料費の計算で控除する。

〔原価データ〕

	A 材料費	B 材料費	加工費	合計
月初仕掛品原価	¥5,340	¥1,000	¥1,080	¥7,420
当月製造費用	¥8,160	¥11,000	¥14,520	¥35,180

※A 材料は工程の始点で投入し、B 材料は工程を通じて平均的に投入する。

(1) 先入先出法

完成品総合原価	円
完成品単位原価	円
月末仕掛品原価	円

(2) 平均法

完成品総合原価	円
完成品単位原価	円
月末仕掛品原価	円